

島根 BLS0 & Ski

Advanced Life Support in Obstetrics (ALSO) は、医師やその他の医療プロバイダーが、周産期救急に効果的に対処できる知識や能力を発展・維持するための教育コースである。1991年に ACLS と ATLS に基づいて、ウィスコンシン州の一般診療医師二人が ALSO を考案した。1993年にコース権利は American Academy of Family Physicians (AAFP-米国家家庭医学会) によって認可され、現在全米ではほとんどの分娩施設において、分娩に関わる医療プロバイダーが ALSO の受講を義務づけられている。また ALSO コースは世界的に普及活動が行われており、50 ヶ国以上でプロバイダーコースが開催され、10 万人以上が ALSO コースを完了している。

日本では 2008 年に金沢大学の周産期医療専門医養成支援プログラムグループが、米国家家庭医療学会から日本での ALSO セミナー運営権を取得し全国展開を行っている。2008 年 11 月から 2000 名以上の受講者がおり、産婦人科医師のみならず救急医やプライマリケア医、助産師・看護師、そして救急救命士等が受講した。

日常的に周産期領域に携わる医療従事者に対する ALSO プロバイダーコースに対し、ここ数年、主に病院前産科救急を想定して、ALSO の前段階の産科救急基礎コースとも言えるトレーニングコースが、世界中で実験的におこなわれるようになった。「産科救急に遭遇する可能性があるプロバイダー全てが標準化されたコースを学び、救急救命士から救急部スタッフ、産科医へと連携をとることで妊産婦死亡・後遺症を減らすことができるのではないか」という観点に立ち、周産期のより切迫した内容へ対応するために基本的なトレーニングコースとして作成されたのが Basic Life Support in Obstetrics (BLS0) プロバイダーコースである。日本におけるコースの内容は、妊婦の評価・分娩介助・新生児蘇生・救急車内分娩・産後大出血であり、BLS0 コースを受講し、試験に合格した場合、参加者は AAFP と ALSO-Japan が認定する 5 年間有効な認証を受ける事ができる。

セミナー：島根 BLS0

主催：邑智病院

共催：島根県

開催場所：いこいの村しまね（予定）

日時：平成 26 年 2 月 15 日（土）10:00～18:00（予定）

費用：12,000 円（予定）

受講生：12 名

申込方法：お名前、職種、所属、連絡先（携帯電話、PC の E-mail）を明記の上、
隠岐病院加藤（E-mail：machokato@oki-hospital.com）までお申し込み下さい。
平成 25 年 12 月 16 日午前 8 時より受付開始です。

定員に達しましたので申込受付は終了いたしました。

テキスト：教育提供サイトからダウンロード

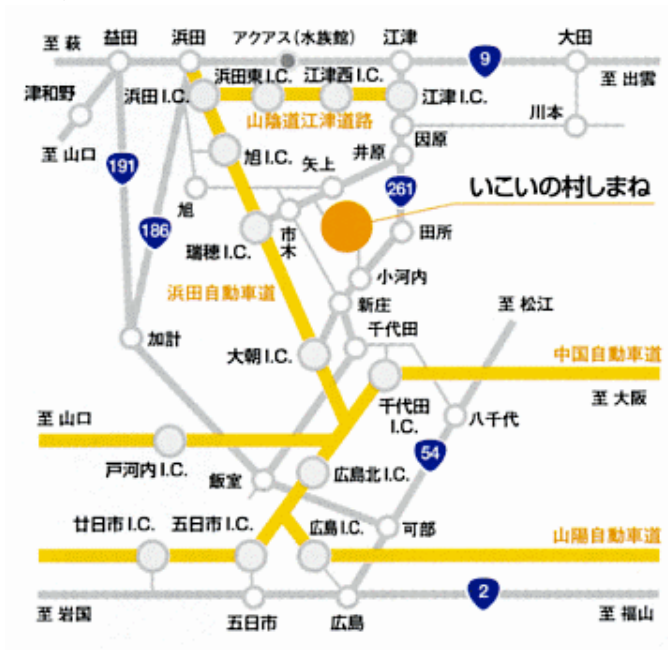
購入推薦図書：日本版救急蘇生ガイドライン 2010 に基づく新生児蘇生法テキスト

田村正徳（監修）メジカルビュー社

コーススケジュール（予定）

- 15日(土) 10:00~11:00 妊婦の評価
 11:10~12:10 分娩介助
 12:10~13:00 昼食・症例検討会
 13:00~14:00 新生児蘇生
 14:10~15:10 産後大出血・妊婦蘇生
 15:20~15:50 救急車内分娩
 16:00~16:50 復習
 17:00~18:00 筆記テスト・実技テスト

交通のご案内



いこいの村しまねHPより

車でのアクセス：浜田自動車道、瑞穂ICより県道327号を矢上方面へ11km（15分）
 ☆県外からのBLSOスタッフはJR広島新幹線口等から送迎を予定しています。

備考

いこいの村しまねから車で15分の場所に西日本最大級のスキー場である瑞穂ハイランドスキー場があります。BLSO当日ナイターまたは翌日にスキーを楽しむことも可です。



瑞穂ハイランドスキー場HPより